



あかねの風保育園夏祭り



所沢市役所へ高校生企画説明



小中高大学生企画会議



広島原爆講演（山中さん）



保護犬の活動



こぼと児童館クリスマス会

所沢SBの活動へ ご支援いただきました皆様へ

成果

- 1,000名を超える学生が地域活動や交流ができました。
- 不登校生徒は4名が関わり、新たな出会いの元で居場所が見つかりました。
- 生活保護や療育手帳、障害年金の手続きの必要な青年や、行政サービスの提供など、8名を超える方の人生を支えられました。
- 行政・企業・医療・福祉と学生を繋ぐ機会をつくる事が出来ました。

課題

- 1名の自殺、1名の自殺未遂を防ぐことができませんでした。
- 地域の企業や医療の繋ぐ報告会では、反応があまりなく、成果に繋げていく事が難しいです。
- 人件費の面で厳しい状況が続いており、スタッフの増員が難しいです。
- 行政機関を繋げても支援に繋がらず、先の見通しをつけられない学生がいます。

お願い

寄付金や学生の学びの機会など、ご協力頂けましたら今後ともご支援・ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

NPO法人子ども地域ネットワーク所沢

埼玉県NPO基金
埼玉県社会福祉協議会



不登校支援



高校生の中学生向けの勉強会・進路相談会



小中高大学生の模擬文化祭



Deledda高校交流（イタリア）



HPのQR





皆様のご支援に感謝

日頃より、学生の居場所づくりや地域とのつながりを育む活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

今年度も変わらず、多くの学生が所沢SBに集い、支え合いながら日々を過ごしてまいりました。学生の登録数に大きな変動はなかったものの、新たな会員との出会いもあり、少しずつ、所沢SBの存在や意義が地域の中でも広がりを見せております。

また、個人・企業を問わず、温かいご寄付をお寄せいただきました皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。

所沢SBはまもなく2年を迎え、3年目を目前にした今年度、多くの方々とのご縁の中で、新たな移転先候補となる場所をご紹介いただきました。現在、8月から9月頃を目安に、移転に向けた準備を進めております。

今後とも、所沢SBの運営へのご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆さまからのご寄付が、少しでも活動のかたちとしてお返しできるよう、「特定非営利活動法人（NPO法人）」の中でも特に公益性が高いと認められる「認定NPO法人」の取得に向けた申請準備も進めております。

もしお近くに、ご寄付やご協力に関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただけますと幸いです。

今年度も、変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

これからの展望とお願い

2025年度は、こども家庭庁の助成金に採択され、新たな取り組みとして「バーチャル空間での居場所づくり」にチャレンジすることとなりました。

オンラインでの居場所を通して、地域の枠を越えた新しいつながりや、海外との交流の可能性を広げていきたいと考えております。7月以降、皆さまにもご案内を差し上げる予定ですので、ぜひご注目いただけますと幸いです。

一方で、今年度は人件費の面で厳しい状況が続いており、スタッフの増員が難しくなりました。そのため事業の継続とより多くの方の受け入れを考慮し、学生の皆さんには申し訳ない気持ちもありますが、利用料の見直し（値上げ）を行う運びとなりました。

経済的な困難を抱えるご家庭には、引き続き丁寧にお話を伺いながら、できる限り利用し続けられるよう個別の対応を行ってまいります。

こうした状況の中でも、学生の「居場所」を守り、さらに育てていくために、変わらぬ温かいご支援をお願い申し上げます。もし、周囲にご関心をお持ちいただけそうな方がいらっしゃいましたら、ぜひ所沢SBをご紹介いただければと思います。

また、2024年度までにご縁をいただいた方々のおかげで、キャンプや陶芸体験など、新たな地域体験の機会も広がっています。2026年2月には、2021年から交流を続けているイタリア・ジェノヴァのDELEDDA高校との連携により、所沢の学生たちをイタリアに派遣する計画も進んでおります。現地ではホームステイを通じて市民の皆さんと交流し、冬季オリンピックの応援なども含めた貴重な国際体験となる予定です（1名あたり約25万円の予定です）。

そして今年度、所沢SBは新所沢への移転を予定しております。今よりも広く落ち着いた環境の中で、学生たちがより自由に過ごせる場所となるよう準備を進めています。

この「新しい居場所」を学生たち自身が作り上げていくプロセスの中で、多くの方の知恵や技術、そしてお力添えをいただければ嬉しく思います。学生と直接関わっていただける貴重な機会にもなると思います。地域の皆さんと共に、より良い環境をつくっていただけるよう、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

ボランティア・寄付をいつでもお待ちしております。

2025年度もどうぞよろしくお願いいたします。

年間利用人数		
内容	小中高生	大学・大人
Base利用	1,861名	481名
登録人数・スタッフ	38名	9名
イベントスタッフ	160名	30名
イベントお客さん	400名	700名
行政サービス繋ぎ	2名	3名

振り返り

地域とのつながりと広がり

今年度は、学生たちの活動を評価いただき、新所沢地域でのイベントに初めて参加させていただきました。初めての屋外イベントでしたが、学生たちは最後までやりきり、地域の賑わいづくりに一役買ってくれたように感じています。

また、行政機関や医療・福祉関係機関とも連携を進め、学生が必要とする支援につながる橋渡しを行うことができました。こうした取り組みを通じて、地域の方々に所沢SBの存在を知っていただく機会も増え、今後さらに連携を深めながら、地域ぐるみの支援ネットワークを強化していきたいと考えています。

学生への支援について

学生とスタッフとの日々の関わりの中で、少しずつ「安心できる関係」を築くことができました。その信頼関係のなかで、学校や家庭の悩みが語られることも増え、一部の学生については、行政機関や医療機関など適切な支援につなげることができました。

また、不登校の学生に対しては、ボウリングなど外での活動を提供することで、所沢SB以外の社会との接点も経験してもらうことができました。保護者の方からのご相談も増え、年間で80時間を超える対応を行い、親子関係の再構築やお子さんの発達理解を共有することで、安心につながるきっかけづくりができたと思っています。中には学校復帰や進路の方向性が見えてきたケースもあり、ご家庭が一步踏み出すきっかけにもなりました。

運営体制について

2024年度は「こどもの未来応援基金」に採択されたことで、家賃やスタッフ人件費など、運営の基盤を安定して支えることができました。新たに4名のスタッフが加わり、学生との日々のやり取りの中で、コミュニケーション能力や成長への気づきが育まれました。

スタッフの交代で不安を感じる学生もいましたが、内部での研修や情報共有を丁寧に行うことで、安心できる居場所としての環境づくりに努めてまいりました。

